

会 議 録		令和8年2月25日作成	令和11年3月末日廃棄
会議名	京都府八幡警察署協議会（令和7年度第4回）		
開催日	令和8年2月18日（水曜日）		
時 間	午前10時から午前11時20までの間（80分）		
場 所	京都府八幡警察署		
出席者	石川会長、田中副会長、上村委員、松浦委員、溝口委員、圓委員、山本委員 嵩委員 （欠席者 小川委員） <span style="float: right;">計8人</span>		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長 交通課長、警備課長、広聴相談係長、警務係員 <span style="float: right;">計11人</span>		
諮 問 事 項	令和7年中の活動結果について		
会 議 内 容	1 会長挨拶 <span style="float: right;">司会 会長</span> 2 署長挨拶 3 協議 諮問事項説明 令和7年中の活動結果について ア 刑法犯・特別法犯認知件数・検挙件数等について～生活安全課長 イ 犯罪の検挙状況、特殊詐欺の発生・検挙状況等について～刑事課長 ウ 交通事故の発生状況、自転車の交通違反に係る青切符の適用開始について <span style="float: right;">～交通課長</span> エ 行方不明事案等統計に表れない警察活動の説明について～生活安全課長 <b>【委員】</b> 高齢者の保護についての説明で、行政に引き継ぐというお話があった。私は郵便局で窓口業務を行っているが、お客さんの中に、いつも元気に来られていたのに急に認知症が進み、言動も怪しく「大丈夫かな」と思う方がおられ、対応に苦勞することがある。 そのお客さんの状況によって、行政や病院、介護施設などへ連絡し、引き継ぐが、それに至らない身寄りの無い独居のお客さんもおられ、「このまま帰宅してもらっていいものか。」と判断に迷うことがある。 このような判断に迷うお客さんがいるとき、警察へ相談させていただいてもいいのか伺いたい。		

会 議  
内 容

【警察】警察へ連絡していただければ、行政の担当窓口や、その方を担当されているケアマネジャーさんへの連絡等、対応を考えるので相談していただきたい。

【委員】私の叔父が認知症で道に迷い、八幡警察署で保護していただいた経験がある。その経験を踏まえ、今では二次元コードを身に付け、発見者がスマートフォンなどで読み取り個人情報が分かる仕組み等、行方不明者の方への対策も進んでいる。

しかし、そうした仕組みの認知度は低く、更に仕組みもバラバラで行方不明者を発見しても役立たないこともある。

認知症の方は、同じ方が何度も保護されることがあるとの説明もあり、今後、認知症などによる行方不明者の方への対策として、全国的に統一した規格の仕組みなどがあれば効果的ではないかと考える。

【委員】認知症の方への対策として、GPSのタグを所持してもらう仕組みも効果的ではないかと考える。

【警察】委員の御指摘のとおり、現在は二次元コードやGPSのタグ等、認知症などによる行方不明者の対策に利用できるものも出てきている。

ただ、その仕組みも、二次元コードがどこに付いているのかが分からなかったり、そもそもタグを本人が所持していなかったり、それぞれ一長一短がある。委員の貴重な御意見を今後の各種対策に役立てていきたい。

4 事務連絡

令和8年度第1回京都府八幡警察署協議会は、令和8年6月に開催する予定である。

以上

## 第4回京都府八幡警察署協議会の開催状況

